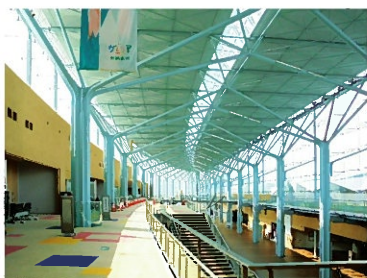




ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その113

京都府亀岡市にある「ギャラリーかめおか」です。1998年池原義郎の設計で開館しました。全長110mの湾曲したガラスの塊りの内部には「道の駅」や公民館機能、デイケア、図書館などの市民のための施設が、自然光に満ちた壮大なギャラリー空間に貼りつくように散在しています。設計者独特の美学で設えられた細部と、スケールの大きな空間性とは相俟った、美しい建築です。

CURRENTLY WORKS



パーソナルカラー彩花 その1…コンセプトの踏襲と新しい展開
24年前にデザインしたパーソナルカラーサロンの移設を依頼されました。以前は集合住宅の1室でしたが、今回はテナントビルで、ガラス越しに内部を見せつつ、入店した時のインパクトを求められました。提案したのは、連続アーチを立て、正面を鏡とし、倍に延びたアプローチに淡い色で構成した光窓を設えるデザインで、浮遊感のある通路になりました。

PRIVATE TOPICS



岡島のトレンド探訪… エスパシオ名古屋キャッスル見学

「ナゴヤ建築まつり2025」の一環で愛知淑徳大学の松本教授、学生達とキャッスルへ…。多数の作家が「鳳凰」をテーマにデザインした内部は緻密さと豪華さに満ちています。特に、格天井と随所の組子は圧巻です。多くの「アート」が並ぶとくどくなりますが、リズム感があり心地良く感じました。それは「秀逸な照明設計」によるマジックだと感じました。

EDITORIAL NOTE

クリスマスにはサンタクロース!… 起源は、1600年程前のセントニコラス司祭が、子供たちに金品を与えことです。最初は馬やロバに乗っていましたが、1823年に出版された本から、8頭立てのソリになりました、有名な赤鼻のトナカイ「ルドルフ」は1939年に登場し、9頭目として先頭を走りました。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島